

# 百広報

所 役 所  
次 人  
行 正 人  
市 行 正 人  
山 編 集 部  
伊 万 里 市 大 街 2869 番  
山 伊 万 里 市 大 街 460 番  
印 刷 所  
松 浦 印 刷 所  
番 号 522 番

## 就任の挨拶

### 市長 橋口 四郎



市民皆様の厳密なる審判を受け、私市長に当選されて頂き、去る二十日正式に就任致しましたので茲に就任の御挨拶を申し上げます。

私既に過去数度の機会に於て或は選挙戦を通じて市民の方のお耳を煩わし居るところであります。幸いに大きな時勢の動きに乗じ、縣当局の御指導と更に理解ある郷土皆様の御支援を得まして町村合併を推進し今日伊万里市実現に迄飛躍させることが出来

ました。それにして勿論私達合併関係者の微力が克く斯の如き劃期的大事業を成し得たとは思いませんが伊万里市の實質的建設、換言すれば合併を効果あらしめ市民の期待に添うべき責任は何人もより多く負うべきであると思ふに居るものであります。

責任を痛感すると共に、私は伊万里市の歴史と現実により立脚した政治が可能でありそのことが市政の飛躍により、ともすれば生じたであろう間隙を調整し名実共に市政の基礎を固めることゝなすることを信ずるが故であります。

申す迄もなく各々の町村が七十年の歴史の幕を閉じ新生伊万里市として発足して行く爲には過去にのみ捕われていたのでは合併の効果を視ることは不可能であり、併し乍ら過去を捨て、しまつたのでは新市建設の成果を視る前に或は混乱と分裂してその効果は望み得ら

ないものであります。実に八萬五千の和協の精神こそは伊万里市政遂行の潤滑油とも申すべきであります。

私は前述の様に市民の

## 議會の動き

四月一日 市議会  
一、議長、副議長、常任委員選任について  
一、各條例及暫定予算承認  
四月六日 厚生委員会  
一、慰霊祭予算について  
一、敬老会開催について  
四月九日 税務委員会  
一、二十九年年度市税の課税方針及市税賦課徴収條例について  
四月十一日 常任委員長副委員長合同協議会  
一、市税條例改正について

四月一日 市議会  
一、機構及予算編成方針について  
一、二十八年度災害復旧工事について  
四月六日 農林水産委員会  
一、伊万里灣綜合開発について、他  
四月十三日 農林水産委員会  
一、市内災害地視察

四月十七日 文教委  
一、市内小中学校視察  
四月十九日 議会運営委員会  
一、市議会定例会規則制定について  
一、次回市議会開催について、他  
全日 経済委員会  
一、信用保証協会について  
一、企業誘致及観光協会について

四月二十日 松本満議員  
一、山代町 辞任  
四月廿一日 土木委員会  
一、二十八年度災害復旧工事について  
一、都市計画について  
四月廿二日 港務委員会  
一、市公有地使料徴収條例について、他  
五月三日 各委員長、總務委員合同協議会  
一、暫定予算について  
一、用度品購入状況報告  
全日 九州市議会議長会  
五月四日 市議会  
一、松浦町母子愛育事業の予算について、他  
全日 森田一心議員逝去

五月六日 保健衛生委員会  
一、八谷嶺營土地改良工事について、他  
五月十七日 文教委  
一、市内小中学校視察  
五月十九日 農林水産委員会  
一、市議会定例会規則制定について  
一、次回市議会開催について、他  
全日 教育委員の選任について、他  
四月廿六日 土木委員会  
一、市内視察  
五月一日 議会運営委員会  
一、四日開会の市議会について  
五月三日 各委員長、總務委員合同協議会  
一、暫定予算について  
一、用度品購入状況報告  
全日 九州市議会議長会  
五月四日 市議会  
一、松浦町母子愛育事業の予算について、他  
全日 森田一心議員逝去

五月十八日 佐賀縣町村議會議長会表彰式(於佐賀市、被表彰者当市十一名)  
一、保健衛生委員会  
一、保育園増築に対する補助について  
五月十八日 佐賀縣町村議會議長会表彰式(於佐賀市、被表彰者当市十一名)  
一、保健衛生委員会  
一、保育園増築に対する補助について  
五月十八日 佐賀縣町村議會議長会表彰式(於佐賀市、被表彰者当市十一名)

五月廿六日 七日 総務委員会  
一、市公平委員の選任について  
五月廿七日 農林水産委員会  
一、市駐在員設置條例制定について、他  
五月十二日 経済委員會議事担当委員、厚生委員合同協議会  
一、國見炭坑の件について  
全日 厚生委員会  
一、保育園増築に対する補助について  
五月三十一日 定例会市議会  
一、三十一日 定例会市議会運営について、他

## 新市は出来た

### さてふところは何?

……四月から六月までの暫定予算……  
……尚本予算は本月末決定の筈……

## 昭和29年度伊万里市 歳入歳出暫定予算

歳 入		歳 出	
費 目	金 額	費 目	金 額
市 税	48,791,200	議 会 費	4,071,196
地方財政平衡交付金	10,431,000	役 所 費	26,660,340
公営企業及財産収入	100	警 察 費	1,573,738
分担金及負担金	2,090,700	土 木 費	4,376,100
使用料及手数料	872,300	教 育 費	10,223,433
国庫支出金	6,485,800	社 会 及 勞 働 施 設 費	9,717,908
縣 支 出 金	203,800	保 險 衛 生 費	2,043,697
寄 附 金	63,000	産 業 經 済 費	2,035,281
雜 收 入	100	財 政 統 計 調 査 費	946,531
		選 舉 費	38,700
		公 債 費	1,054,301
		支 出 金	513,000
		予 備 費	5,635,001
			51,714
歳 入 合 計	68,941,000	歳 出 合 計	68,941,000

## 市役所案内

市役所の機構については四月号の三頁でお知らせ致しましたが、Aの課ではどんなことをしているのか、又こんな要件はどの課を訪ねてよいものか等々、さぞかし御不審の点もあろうかと考へ、之から毎号規程を追つてその取扱内容を紹介することに致しました。

- 総務課は何をやるのでしょうか。
- 総務課には庶務、財政、管理、統計と四つの係があります。
- 庶務係は
  - 一、各局課の計画、綜合統一
  - 二、国有財産の處理
  - 三、消防団事項
  - 四、非常災害の報告及び綜合対策
  - 五、行政区域に関する事項
  - 六、各支所との連絡
  - 七、市長会に関する事項
  - 八、議会に関する事項
  - 九、條例、規則の審査其の他例規に関する事項
  - 一〇、契約書、指令書、及覺書の審査
  - 一一、公告式及び庁達事項
  - 一二、課内の事務統一
  - 一三、文書の送達、淨書、製本及保管
  - 一四、其他、他課に屬しない事項
- 財政係は
  - 一、財政計画
  - 二、予算の編成
  - 三、起債、一時借入金及
- 統計係は
  - 一、国勢調査
  - 二、人口統計調査
  - 三、事業所統計調査
  - 四、勤勞統計調査
  - 五、家計調査
  - 六、商工業統計調査
  - 七、会社統計調査
  - 八、農林水産業調査
  - 九、學校基本調査
  - 一〇、住宅調査
  - 一一、等を取扱つて居ります。

## 総務課の巻

び運用金に関する事  
四、地方財政平衡交付金に関する事項  
五、財務報告  
六、報償、契約に関する事  
七、財政事情説明書の公表  
八、各課からの考査に関する事項  
九、税外収入の測定及徴收補助  
一〇、補助及奨励金等の指令

座談會

伊万里市役所 佐賀新聞社



五月十日午後一時より市役所及佐賀新聞社共催の下に市役所應接室で各界代表者出席、新市発足に伴う座談会を催した。「市民の聲」としてその要旨を拾つて見よう。

◎合併について 一、合併は必然的措置でありむしろ遅きに失する。尙不況を見越し之が打開策としても最も当を得た策と思う。

◎旧執行部の去就について 一、促進法に安住すべきではない。新市長は可及的早急に決行し輿論に答へべきだと思う。

◎新市に望むものは 一、平和産業を主眼とする港灣開発と併せて貿易の促進を望みたい。 一、汽車及バスの増設と道路の整備が欲しい。 一、電話の一本化(市内電話)を早急にやつて貰いたい。

◎伊万里町へ来る便は 一、旧村部への乗り換えが欲しい。終列車も考慮が欲しい。 一、工業誘致の積極的活動を希望する。

◎昨今の炭礦問題について 一、根本的対策としては国家的問題であるが緊急策として、地域的に考えれば課税の点で再考が必要と思う。

武藤市議會議長 佐賀新聞社 古賀編輯局長 中島伊万里支局長 井手記者 市役所 牧瀬市長職務執行者代 山口市長室長 岩本土木課長 原廣報係長

御存じてしよが……?

★市役所の電話番号 四六〇番四六二番四六二番四六三番の四つです。 向、役所内には私設の交換機があつて、各課に連絡がとれる様になつて居ります。

★佐賀縣は七市一八町六四村です。 本縣は去る四月一日の町村合併で新しい市が四つ生れ今迄の佐賀市も大きくなりました。又右田町、山内村の新しい二つの町も出来ました。更に五月一日には多久五ヶ村が合併して多久市となりました。従つて現在の佐賀縣の市町村数は市が七、町は十八、村が六十四になりました。合併前は二市二町村であつたのが

★建設費の設置 市役所の玄関横に建設費の箱を設けました。御批判なり御意見はどしどし御投函下さい。

★建設費の設置 市役所の玄関横に建設費の箱を設けました。御批判なり御意見はどしどし御投函下さい。

★建設費の設置 市役所の玄関横に建設費の箱を設けました。御批判なり御意見はどしどし御投函下さい。

★建設費の設置 市役所の玄関横に建設費の箱を設けました。御批判なり御意見はどしどし御投函下さい。

★建設費の設置 市役所の玄関横に建設費の箱を設けました。御批判なり御意見はどしどし御投函下さい。

所の投票所が実施、翌七日午前八時から伊万里町大坪小学校校庭に於て開票の結果、元市長職務執行者、橋口四郎氏が当選し八萬五千市民の附託を担うこととなつた。 尙、初代市長決定まで、その経過を簡単に述べて見よう。 四月二十五日 市長職務執行者、橋口四郎氏辞任 山代市所長、牧瀬再市市長職務執行者代理に就任。 四月二十六日 市長職務執行者、橋口四郎氏、市役所三階應接室に於て、写真は新装なつた市役所應接室

本庁職員一同に對し辭任の挨拶。 五月一日 選挙告示と同時に立候補者受付、午前八時三十分、高添門司氏先づ立候補届出、相次いで橋口四郎氏届出。 五月十六日 市内二十四ヶ所の投票所に於て投票 五月十七日 市立大坪小学校講堂に於て午前八時より開票、全午後二時確定。 ◎各候補者得票 当選 一八、五五三票 橋口 四郎氏 一七、二八二票 高添 門司氏

通り承認決定した。 助役山口正次(収入役代理) 収入役大川内善次(総務課長事務取扱)

三役決定す 市長決定に伴い、助役並収入役は去る三十一日定例市議会に於て左の

市長選挙の回顧 投票成績は南波多町が第一位 初代伊万里市長選挙は一月十六日市内二十四ヶ

市長選挙投票成績表 町名 有権者 投票者 投票率

Table with columns for town names (山代町, 東山代町, etc.), male/female voters, and voting rates.



税務課だより ◎固定資産税はなぜ高く なつたのでしょうか? 二十九年年度の固定資産税が前年に比べて二割から三割高くなりました。これは固定資産の評価額が前年の基準となる縣知事の指示額(知事は土地については地目別、家屋については種類別に一單位当りの平均額を市町村長に指示することになつてゐる)が上つたため、決して町村合併のために高い税金を徴収するものではないと知事。知事の指示額が上つたのは諸物價が前年に比べて高くなつてゐるためと説明されてゐます。従つてこれは伊万里市だけでなく全国的に上つてゐるわけですから税率はむしろ下つてゐるのです。評価額が上つたため結局税金が高くなつたことになりま。丁度合併直後時が時であつたため、皆さんが疑問に思はれたのも御尤もと思ひます。

痛い一兆円予算 ……だが反省が肝腎… 一兆円予算…不景氣には遠慮(?)品々考えただけでもグツと然も二十七年に比して二十八年年度の貿易が著しく大した激増振収支を取上げお互いの着、立派な牛皮の靴反省の糧にしてみたいを穿いてコーヒヤコーアを飲む身分に早く輸出総額 一四、四〇〇萬ドル 二八年年度輸入品とそれ 二四、二〇〇萬ドルの二七年度対比 これを貿易外収入で埋 コーヒヤとコーア四三めても尚、三億千三百 砂糖三八%増 萬ドルの赤字になるそ アルコール飲料水三〇うな。然も輸入した品 %増 牛皮六五%増物が貧乏世帯の日本人 原羊毛三五%増



◎税法改正について 去る国会で国税、地方税を通じ廣範圍の改正が行われましたがその中で市民の皆さんに特に知つていたべき度い縣民税と不動産取得税についてその要点を掲げて見ましよう 一、縣民税について この税は名のおり縣税であり、市市民税の一部を分割するといふ様な性質のもので、徴税令書一枚の用紙に記載し、徴収も滞り関係の処分も一切市役所で実施することになつてゐます。納税義務者は「市町村民の納税義務を有する者」を道府縣民税の納税義務者とす。一ことになつて

### 弱い人が 長生きする

嘘のような  
本当の話



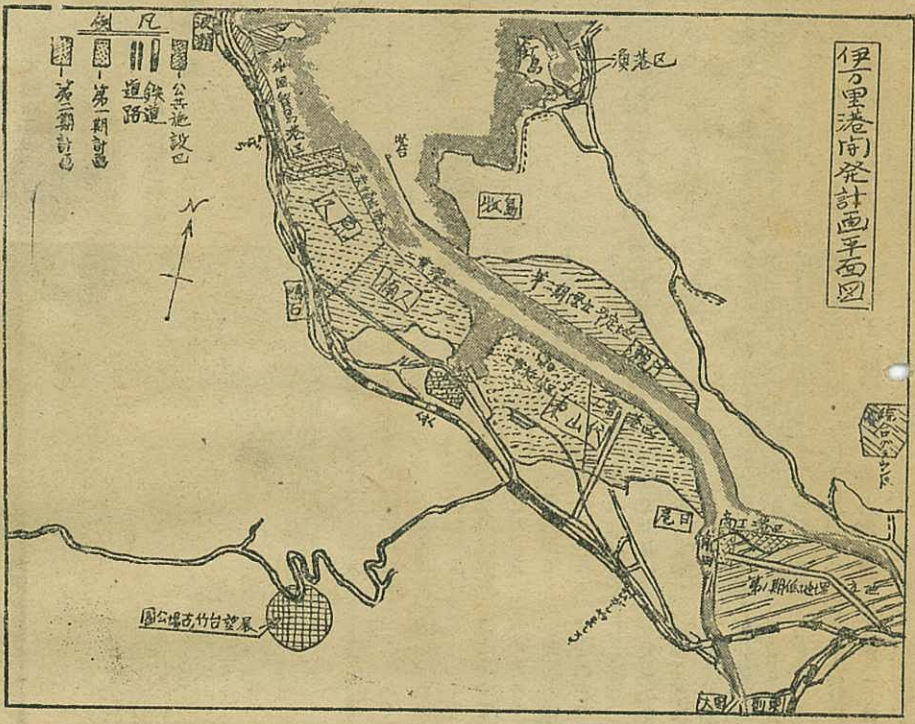
東北大学教授の近藤正一博士が現在、八十才をこえて丈夫で活動している人たちの多数について調べて見たところ、その六〇％は若い時に弱かつた人であることが分りました。其の人たちは身体が弱いというので、暴飲暴食をせず、身体のためになる食物を適量によくかんで食べる様にしたり長生きして活動することが出たのです。

「腹八分目に医者いらすに柳に風折れなし」などの諺も、もう一度じっくり味わいなおしてよい言葉です。身体が強い人もそして又氣の強い人も

### 廣報とは

旧伊万里町の皆さんは既に御存じのことですが他の町の方々に或は耳新しい言葉と思えますので、一應廣報の意味なり存在理由を説明して見ましよう。

一、日本の政治は民主政治である。終戦後、日本の政治の基盤が民主政治に変わったことと皆さん御存じの通りであります。憲法で申します主権在民という言葉をまた、其のためであります。伊万里市の場合を考へて見ますと市政の目的が市民お互いを幸福にする爲めにある以上、市政そのものが吾々のものでなければなりません。又それは市民によつてなされねばならないし、従つてその目的も市民の爲



ち市民の皆さんに市政上のこととは勿論、一般に参考となることを知らせることであり又、その反面市民の皆さんが何を要求しているかを調査してこれを市政の上に活かし、正しい理解のもとにその施策に対する積極的な協力を得て、民主的に明るい市政を実現することを云うのであります。

この目的の爲に発行せられるのが「廣報」といふ市の機関紙であります。

四、「廣報」と新聞及公民館報との関係

一見「廣報」は新聞とよく似て居りますが、新聞は飽くまで営利の上に立つ報道紙であり「廣報」とは全然趣を異にするわけであります。従つて掲載内容も三篇記事ものばかりでも困るし、興味本位でも目的に添わないわけであります。又、従来旧町村の公民館で発行されてきた公民館報の様に、社会教育の立場に立つ館報とも又、多少性格が異なることになり得ます。

併し要は市民の皆さんに読んで貰わなければ、発行の目的は達せられませんで、かたいものもななく平易にして親しみ

### 明朗市政は先づ我等から

五月一日市職員組合結成

何しろ二五〇平方料の廣域に亘り然も伊万里灣の悲壯な決意を汲んで大構想の下に発足した伊万里市のこと。市の世帯も亦大きく市會議員一八二名、恐らく国会に次ぐ多数議會だらうと言われている。従つてその職員数も亦多く四百名を越える大世帯である。少し大袈裟な表現をすれば市の死活は亦これ等職員奮起如何にあるとも言える。否、少くとも半分は然りだと言ふ雄々しい自覚から至員一致団結、明朗市政、以て大伊万里市建設を向つて立ち上らうと去る五月一日、大坪小学校講堂に於て、伊万里市職員組合設立總會を開催しこの世紀の大事業に一肌脱

く決意を新にした。市民の皆さんもどうかその悲壯な決意を汲んで大いに励まし役立て、貫いてい。

因に決議文と役員を紹介致します。

◎決議文

吾等は市民の良き公僕たることを深く認識し、民主的職場の運営と明朗化を企図し一致団結伊万里市の発展と本組合の恒久的の伸展を図る。

昭和二十九年五月一日

伊万里市職員組合設立總會

◎役員

組合長 大木國雄 (大坪町)

副組合長 重松 鉄藏 (大川町)

井手 誠 (大川町)

山口竹一 (東山代町)

事務局長 岩崎静馬 (大川内町)

組織部長 小旗松雄 (黒川町)

情報宣傳部長 原 清一 (松浦町)

會計部長 松永吉市 (山代町)

文教部長 池田一郎 (二里町)

厚生部長 須藤心一 (波多津町)

体育部長 井手 実 (南波多町)

婦人部長 山口静枝 (大川内町)

監事 川久保斐斐夫 (山代町)

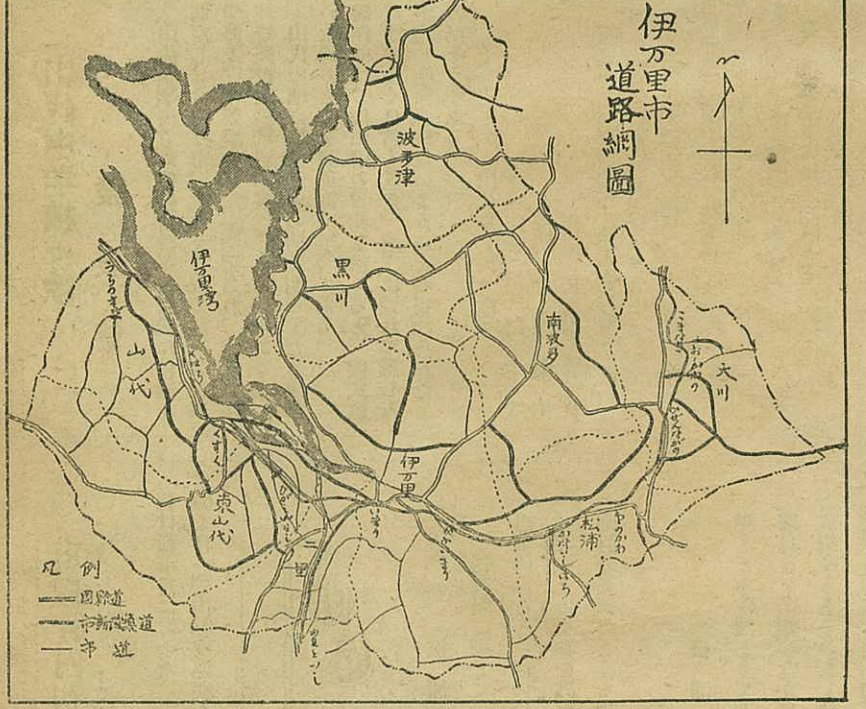
原田 強 (波多津町)

重松 鉄藏 (大川町)

### 御願

市では各方面から請願書がまいつて居りますが、請願書には紹介議員の氏名と受理年月日を記入することになつて居りますので御注意下さい。

議會事務局



### 人事通信

- ▲監査委員 兒島梯次郎 (學識經驗者)
- ▲伊万里市教育委員會委員 永石八郎 (議會選出者)
- ◎委員長 池田清司 (松浦町)
- ◎副委員長 古賀儀助 (〃)
- ▲第七分團長 松原金六 (南波多町)
- ▲全副分團長 齊藤定治 (〃)
- ▲第八分團長 井手一 (〃)
- ▲第九分團長 岡口政雄 (大川町)
- ▲第十分團長 池田清司 (松浦町)
- ▲第十一分團長 古賀儀助 (〃)
- ▲第十二分團長 西田政次 (二里町)
- ▲全副分團長 池田虎夫 (〃)
- ▲全副分團長 小森野吉 (〃)
- ▲全副分團長 山口良作 (東山代町)
- ▲全副分團長 幸松重行 (〃)
- ▲全副分團長 山本長円 (〃)
- ▲全副分團長 金子源藏 (山代町)
- ▲全副分團長 山口時興 (〃)
- ▲全副分團長 前山常春 (〃)
- ▲本部長 弘川卯兵衛 (伊萬里町)
- ▲常備消防部長 小川光治 (〃)
- ▲公平委員 池田忠吉 (大川町)
- ▲副團長 隅田精一 (立花町)
- ▲副團長 川口寅治 (山代町)
- ▲伊万里市婦人會會長 小島テツ (伊萬里町)
- ▲副會長 有浦ミキエ (南波多町)
- ▲副會長 草崎トキエ (大川内町)
- ▲伊万里市連合青年團團長 福地道雄 (波多津町)
- ▲副團長 中村伊佐男 (二里町)
- ▲副團長 田代正敏 (大川町)
- ▲副團長 田口スミエ (〃)
- ▲副團長 加藤淳子 (東山代町)
- ▲全副分團長 古賀徳助 (〃)
- ▲全副分團長 川内正一 (波多津町)
- ▲全副分團長 岩本幾治 (〃)
- ▲全副分團長 佐々木甚助 (〃)
- ▲全副分團長 松尾松山 (大坪町)
- ▲全副分團長 前田常治 (新天町)
- ▲全副分團長 岩崎静馬 (大川内町)
- ▲全副分團長 大久保敏次郎 (〃)
- ▲全副分團長 吉田久太郎 (黒川町)
- ▲全副分團長 山代傳助 (〃)
- ▲全副分團長 佐々木甚助 (〃)
- ▲全副分團長 岩本幾治 (〃)
- ▲全副分團長 川内正一 (波多津町)
- ▲全副分團長 古賀徳助 (〃)

### 山代町より 「山代青年学級」も誕生 更に「婦人学級」も誕生

去る廿四日山代青年学級は第四回目の開講式を挙げた。いよいよ軌道に乗って今年こそは「よりよい青年学級」と張り切っている。

当日市の社会教育課長、岩永氏を始め町内多数の来賓、学科担任講師先生方の臨席を得て盛大な開講式が挙げられた。

岩永課長談「伊万里市として青年学級開講は一番早い方である。只今生徒申込数を発表され男女六五名とあつたが、本日も新たに二十名近く申込み出席したことは実に嬉しい。大体に於て申込数より出席者が少なくなっているが、本青年学級は増している。又四年の生徒が八名あることには之を全く感服の他ない。生徒自体の熱意と、公民館、講師、一般父兄の理解によるもので誠に結構なことである。諸氏益々自重自愛し、村を起す中堅、うるわしい人間となつて欲しい。」

婦人の教養を高めてその地位を向上し、以て住

### 若人の誇り!!! 体育の殿堂!!!



#### 第七回縣体の報告

第七回縣民体育大会は二十二日から三日間唐津市内十四の会場で二十数種目に亘り熱戦を展開、伊万里市も池田監督以下二五〇名が参加し、トを盡したが、合併日課事務に追われ練習不足

一般 六位七位八位同点(含伊万里市)  
中学 十二位  
バスケットボール  
山代中学出場、一回戦で三養基郡に敗退  
大川中学出場、唐津二中と南川副中を破り、優勝にて呼子中学に惜敗  
一般男子 一回戦で唐津中に敗退  
津中に敗退

パレーボール  
中学男子 (二回戦) 東多中二対〇南波多中  
中学女子 佐大附中二對〇南波多中

一般男子 波山中二對〇伊万里クラブ  
一般女子 唐津二對〇南波多クラブ

一回戦三養基郡に不戦勝  
二回戦東松浦郡六對三伊万里市

大川町出場三養基郡基里チームに破る

二里町(前田電機) 七對〇

一回戦にて鳥栖市に一点の差で敗退  
中学 山代中学出場、鳥栖中に五對一で敗退

ソフトボール  
中学女子 二里中出場、西興賀中四對三二里中

一般中学共に予選リーグで敗退  
旧伊万里町の市制祝賀記念行事は恒例の茶市を兼ね、二十二、二十三の二日に亘り執行。とりわけ二十三日は連日の雨も晴れ上り仮装行列、手踊り写真はその一景



一回戦にて鳥栖市に一点の差で敗退  
弓道 四位  
一般村対抗  
予選リーグで敗退  
一般都市対抗(オーブ)

善戦し伊万里市が優勝  
総合成績  
十二郡市中 第十一位

善戦し伊万里市が優勝

### 山代中学校々歌 發表會

山代中学校では新校舎の落成を機に校歌を制定し、歌詞は市が生んだ作家で詩人の、医学博士、片岡繁男先生が選定され、作曲は現神崎高校教諭、居本喜代先生の作である。

山代中学校々歌  
作詩 松尾 米次  
校歌 片岡 繁男  
作曲 居本 喜代

一、あしたのたかに 映えわたる  
國見の峯に 久遠なる  
理想をかざし 若人の  
集いて立てば 清らけく  
若き生命に 光あり

二、伊万里の湾に 潮鳴りて  
眞理の波濤は 猛くとも  
ともに拓かん 若人の  
集いて立てば 逞ましく  
若き生命に 力あり

三、歴史は永久に 城山の  
深きみどりの 松のいろ  
そを受けつぎて 若人の  
集いて立てば 美わしく  
若き生命に 輝やけり  
あ、輝やけり 山代中学校

### 市長管内初度巡視

橋口新市長は二十六、二十七日の両日に亘り記者団を伴い管内初度巡視を行った。

招魂祭に列して  
忠魂碑おろがむ頼に松の露  
とこしえに平和を護れ殉国碑  
殉国の美徳たとうる招魂祭

脚もとに溪流ありて茶摘うた  
蝶行きて若葉のなかにかくれけり  
草萌ゆる土手のあしたや放ち牛  
葉櫻の葉末に北斗仰ぎけり  
春の雨煙りて駅の静かなる

### 市章決定

予て懸賞募集中の「市章」は応募總數一、三二七件の多数に上り、五月二十四日佐大筒井教授を委員長とする審査委員会に於て厳重審査の結果、小城郡東多東町六丁目秋次柳風氏の左記圖案が選定され、尙全三十一日の定例議会に於て正式「市章」として決定された。



階前の梧葉に秋風は訪れずとも、時の経つのは速いもので早、「廣報」も第二号発刊の日が訪れました。役所でも引越しました。役所でも引越しました。役所でも引越しました。

いさ下カ協御に税納